

令和3年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	対応 ※一部対応含む
緑	1	地域防災拠点における、感染症対策物品等のローリングストック	地域防災拠点(小中学校)に備蓄している消毒用アルコール等の廃棄を減らすための学校内でのローリングストックの実施	教育委員会事務局 総務局	—
緑	2	区役所への少量危険物倉庫の設置	新型コロナウイルス感染症対応に必要な消毒用アルコールの増備に係る区役所敷地内への少量危険物倉庫の設置	市民局	—
緑	3	十日市場歩道橋(通称:太鼓橋)のバリアフリー化の推進	令和4年度末までのエレベーター設置工事完了	道路局	○
緑	4	都市計画道路の整備促進	1 長津田駅南口線の用地取得及び本格整備 2 山下長津田線(鴨居地区)の用地取得及び整備着手 3 中山北山田線(中山地区)の早期事業化	道路局	○
緑	5	中山駅周辺の一体的なまちづくりの推進	1 再開発事業の早期完成に向けた着実な支援、まちづくり協議指針の見直し検討 2 バリアフリー基本構想の策定	都市整備局 道路局	○
緑	6	横浜市立で唯一現存する木造校舎を活用した山下地域交流センターの耐震補強工事等の実施	1 歴史的建造物の保全制度の適用・利用に関する検討 2 耐震補強工事等の実施 3 歴史的な木造校舎の特徴を活かした施設運営等の検討	市民局 財政局	○
緑	7	多文化共生社会の推進にかかる国際交流ラウンジの安定した運営	国際交流ラウンジの運営にかかる予算措置	国際局	○
緑	8	コロナ禍における、拠点に動員される職員が担う役割の見直し	地域防災拠点開設・運営「支援職員マニュアル」を見直し、コロナ禍における新しい支援事項を追加	総務局	○
緑	9	緑区役所東側出入口への屋根(庇)設置	駐車場と区庁舎との間にある通路への屋根(庇)設置	市民局	○



教育委員会事務局		総務課	
担当者名	児玉	TEL	671-3220

対応の有無	対応しない	
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	<p>感染症対策に必要な消耗品等については、学校ごとに必要なものを常時購入しています。学校での感染症対策については主に手洗い励行を推奨していること等から鑑みて、学校でのローリングが適切か再度検討が必要と考えます。その他消耗品も、災害時に確実に使用できるようにするため、校内での使用状況を逐一確認する必要があるため、避難者向けの災害備蓄の管理は災害対策を担う区の責任において実施すべきと考えます。</p>	
	◇対応する場合の課題	
	<p>小中学校における対応状況が異なること、また学校における備品管理には一定程度の負担がかかることから一律に実施することは困難です。</p>	

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	市民局	緑区		総務課	
		担当者名	伊藤・笠羽	TEL	045-930-2208
		共通区	2区(西区、金沢区)		

継続年数	新規
------	----

提案種別	
予算関連	
番号	項目
2	区役所への少量危険物倉庫の設置
◇地域の課題、基礎データ等	
<p>コロナ禍でアルコールの備蓄量が各区で増えています。今後の感染拡大や新型インフルエンザに備え、備蓄量を増やさなければなりません。危険物倉庫がない区役所では備蓄できるアルコール量が限られ、備蓄量を増やすことができないため、この状況では、職員、区民の安心・安全が確保できません。</p> <p>緑区役所の状況： 非常用発電機用の軽油8800を保管しています。少量危険物の届出済みです。</p> <p>今の状況では、区役所内に480未満しか保管できません。</p> <p>現在の使用量 来庁者用20/日、乳幼児健診160/月など(各課合計備蓄量3100)</p>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他( )	
◇区民からの具体的な要望	
区役所の敷地に少量危険物倉庫を設置してほしい。	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
消防局のコロナ禍での危険物保管に関する暫定的な運用で保管しています。	
◇提案内容・概算額等	
少量危険物倉庫の設置 概算額2,512千円	
◇参考：区執行体制上の課題	
現行の体制で対応	
◇所管局	
所管局課	市民局地域施設課

◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	中村・阿野	TEL	671-2086

対応の有無	対応しない
対応する場合	◇対応の内容
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	新型コロナウイルス感染症感染防止対策の観点から、消毒用アルコール備蓄の少量危険物倉庫の必要性は理解していますが、昨今の厳しい財政状況の中、予算化することができませんでした。
	◇対応する場合の課題
	倉庫の設置は増築工事に該当するため、建築基準法や消防法等の適合性の確認や、申請手続きが必要となります。区においては、関係局と協議調整のうえ、増築工事に伴う法的な課題の整理を行うとともに、工事費だけでなく倉庫設置にかかわる全体の予算額を算出するなどの検討を計画的に進めてください。

令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局	緑区		区政推進課	
		担当者名	高西	TEL	930-2217
		共通区			

継続年数	3年
------	----

提案種別	
予算関連	
番号	項目
3	十日市場歩道橋(通称:太鼓橋)のバリアフリー化の推進
◇地域の課題、基礎データ等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>十日市場歩道橋(通称:太鼓橋)は、山下長津田線にかかる歩道橋で、十日市場団地地区からJR十日市場駅への主動線となっています。</li> <li>バリアフリー法制定の平成18年以前に整備されており、こう配が現行基準に適合しておらず、高齢者等が安全に利用するため、バリアフリー化を図る必要があります。</li> <li>歩道橋の形状や用地的な制約からバリアフリー化に向けた課題が多く、平成29年3月策定の「十日市場駅周辺地区バリアフリー基本構想」及び同構想を受けて策定した道路特定事業計画において、縦断こう配の改善の「検討」を行うこととするにとどまっています。</li> <li>建築局による持続可能な住宅地推進プロジェクトが進行しており、先行する20・21街区では順次入居が始まっており、子育て世代から高齢者まで幅広い世代の住民が転入する見込みであることから、早期のバリアフリー化が望まれています。</li> </ul>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ( )	
◇区民からの具体的な要望	
<ul style="list-style-type: none"> <li>十日市場団地地区は、2,334戸の市営住宅と549戸のUR賃貸住宅からなっており、その住民が駅へアクセスする際の主動線となっていること、また高齢化率が非常に高い(市営住宅では40%超)ことから、地元の連合自治会からも、こう配の改善が強く要望されています。</li> </ul>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>十日市場駅周辺地区バリアフリー基本構想(平成29年3月策定)</li> <li>道路特定事業 経路1-3十日市場歩道橋(太鼓橋) 今後機会を捉えて整備を検討:照度の確保の検討、縦断こう配の改善の検討、休憩施設の設置の検討</li> </ul>	
◇提案内容・概算額等	
<p>持続可能な住宅地推進プロジェクトにおける22街区の共用開始時期(令和5年4月予定)に合わせた令和4年度末までの整備完了。</p> <p>エレベーター設置工事費: <span style="background-color: black; color: black;">          </span> 千円</p>	
◇参考:区執行体制上の課題	
現行の体制で対応	
◇所管局	
所管局課	道路局施設課

◆局回答内容

道路局		施設課	
担当者名	松田	TEL	671-2731

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 工事費用の予算化に向けて調整中
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題



### 令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	都市整備局、道路局	緑区		区政推進課 緑土木事務所	
		担当者名	高西	TEL	930-2217
		共通区			

継続年数	新規
------	----

提案種別	
予算関連	
番号	項目
5	中山駅周辺の一体的なまちづくりの推進
◇地域の課題、基礎データ等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>明治41年の駅開業時から南口前には商店が建ち、昭和47年に緑区総合庁舎が整備されたのをはじめとして、多くの施設が立地しています。</li> <li>駅前では区最大の商店街が形成されているほか、多くのバス路線が発着しています。 (南口約400便/日、北口約250便/日が発車)</li> <li>北口側は昭和62年に区画整理事業が完了した後、まちづくり協議指針に基づいた壁面後退により、豊かな歩行者空間の確保を誘導しています。</li> <li>南口側は平成31年2月に市街地再開発事業等の都市計画決定がされ、駅前広場、道路の整備による交通問題の大幅な改善が期待されています。</li> <li>再開発事業区域外の商店街や市民利用施設へも安全に移動できるような歩行環境の整備が必要です。</li> <li>商店街背後の住宅地では、木造住宅が狭い道路に面して建ち並んでおり、防災・防犯上の課題があります。</li> <li>電線地中化や雨水排水施設の整備など駅周辺での事業予定が複数あり、相互の整合を図ることや地域や利用者に分かりやすく情報提供する必要があります。</li> </ul>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ( )	
◇区民からの具体的な要望	
<ul style="list-style-type: none"> <li>中山駅南口地区街づくり基本構想策定(平成10年)</li> <li>再開発事業の早期完成や南口周辺の歩行環境の向上</li> <li>中山駅南北の移動の円滑化 など</li> </ul>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
都市計画マスタープラン緑区プラン「緑区まちづくり計画」 ・「まちの要」づくりプランー中山駅周辺のまちづくり方針 中山駅南口バス経路変更(平成28年3月)	
◇提案内容・概算額等	
1 再開発事業の早期完成に向けた着実な支援、まちづくり協議指針の見直し検討 2 バリアフリー基本構想の策定	
◇参考：区執行体制上の課題	
現行の体制で対応	
◇所管局	
所管局課	1 都市整備局市街地整備推進課、2 道路局企画課

#### ◆局回答内容

都市整備局		市街地整備調整課	
担当者名	小張、鈴木	TEL	671-3513

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 中山駅南口地区第一種市街地再開発事業については、着実な実施に向け、引き続き積極的な支援を行ってまいります。また、再開発事業の進捗に合わせ、中山駅周辺地区のまちづくりの方向性の検討を区役所とも連携を図りながら進めます。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

道路局		企画課	
担当者名	松丸、石井	TEL	671-4086

対応の有無	対応する	
対応する場合	◇対応の内容	
		中山駅周辺を含めた新規地区における緑区バリアフリー基本構想作成のため、まちのバリアフリー化推進調査費で対応します。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	



## ◆局回答内容

市民局		地域施設課	
担当者名	加藤、佐野	TEL	671-2326

対応の有無	対応する	
対応する場合	◇対応の内容	
	歴史的建造物であり、地域から要望が多い施設のため、調査費として予算計上します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

財政局		管財課	
担当者名	八田羽、奥野	TEL	671-3806

対応の有無	対応する	
対応する場合	◇対応の内容	
	建物の喫緊の課題である耐震化の必要性は理解します。一方で限られた財源の中でコスト削減に配慮した整備内容について、十分検討をする必要があると考えます。また、公共施設の適正化の視点から、利用状況の見極め、余剰部分の特養や子育て施設等への活用可能性などの視点を、今後も行政・地域でしっかりと検討していくことが重要と考えます。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

### 令和3年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	国際局	緑区		地域振興課	
		担当者名	伊藤	TEL	930-2238
		共通区			
		継続年数	新規		
提案種別					
予算関連					
番号	項目				
7	多文化共生社会の推進にかかる国際交流ラウンジの安定した運営				
◇地域の課題、基礎データ等					
1 急増する外国人人口に対応するため、令和2年度末に緑区国際交流ラウンジを開設予定。 2 国際交流ラウンジでは在住外国人の生活相談のほか、地域のコミュニティとの融合を図り、今後ニーズは拡大することが見込まれます。 3 安定したラウンジの運営のために、必要な予算について継続的に計上する必要があります。					
◇地域ニーズ等の収集手段					
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ( )					
◇区民からの具体的な要望					
1 外国人が生活する上での相談窓口を明確にしてほしい 2 外国人と地域の住民が交流できる機会を設けてほしい					
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。					
区民からの要望を受け、令和2年度末に「緑区国際交流ラウンジ」を設置予定					
◇提案内容・概算額等					
「国際交流ラウンジの運営にかかる予算措置」 1 在住外国人の相談窓口を設けるため、平日昼間のみならず夜間や休日も開館する必要があります。 2 区役所および市民活動支援センターとの連携を深めるため、近隣の賃貸事務所に設置することで関係局とは合意がとれています。 3 今後の外国人の増加に伴い、生活等相談の増加が見込まれ、また、地域コミュニティとの融合を図る事業の重要性は一層高まることが予想されます。 4 緑区においても他区と同様に、安定したラウンジの運営のため必要な予算について継続的な措置を要望します。  【参考】令和3年度予算要求 16,000千円（運営委託費10,000千円、施設管理費6,000千円）					
◇参考：区執行体制上の課題					
現行の体制で対応					
◇所管局					
所管局課	国際局政策総務課				

#### ◆局回答内容

国際局		政策総務課	
担当者名	松本・本田	TEL	671-3826

対応の有無	対応する	
対応する場合	◇対応の内容	
	所要額を精査した上で予算計上し、個性ある区づくり推進費に統合する。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	



